

(様式3)

自己評価結果票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.理念に基づく運営			
1.理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>グループホームとして「魚崎の地で、ともに楽しく自分らしく暮らしましょう。」という独自の理念を掲げている。</p>	<p>地域の方などボランティアの方との交流もあり、地域に親しまれる開放された施設作りをしていく。</p>
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>運営理念、運営方針とともに玄関・スタッフルームに掲示している。サービス十カ条を朝礼時に唱和し、確認を行っている。</p>	<p>新しい職員には理念を伝え、理解してもらう。</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>施設内に掲示、訪問時に説明をしている。家族会にて報告・説明している。</p>	<p>家族会にて理念の説明を行う。</p>
2.地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>散歩や外出時など、近隣の方には挨拶を交わし、気軽に会話をしている。スーパーで買い物時、利用者の方のお支払いも店の方が協力して下さっている。</p>	<p>地域見守り隊に参加していきたい。</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>小学校より音楽会の案内や幼稚園の運動会のお誘い、福祉センターでの行事参加、地域盆踊りなど地域交流がある。</p>	<p>地域とのつながりが持てるよう積極的に行事参加をしていく。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	実習生の受け入れや小学生の訪問など積極的に行っている。地域婦人会の方々の研修視察を行った。		生きがいデイや老人会等で話す機会があればしたい。実習生の受け入れは、今後もしていきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	第三者評価の意義目的を会議で伝えている。外部評価の結果の改善に向けて、職員で取り組んでいる。		第三者評価の意義目的を会議で伝えていき、外部評価の結果の改善に向けて、職員で取り組んでいきたい。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議にて活動の報告とともに意見・質問の交換を行っている。一つひとつ積み上げがなされるようにしている。地域密着を目指し、グループホームでの取り組んでいる内容を報告し、意見をいただく。		運営推進会議にて活動の報告とともに意見・質問の交換を行っていき、一つひとつ積み上げがなされるようにしていく。地域密着を目指し、グループホームでの取り組んでいる内容を報告し、意見をいただきたい。
9	市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	神戸市営住宅型グループホームのため、絶えず神戸市・住宅局とも連携をとっている。		地域密着型を推進するため、入居に関して、体験等神戸市と協議し、取り組みたい。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	成年後見制度について職員に説明、アドバイスが徹底されていない。		成年後見制度について勉強会が必要である。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員全体会議では、虐待や拘束の研修を行っているが、勉強会やミーティング時、高齢者虐待防止関連法に関する理解を持たなければならない。		今年度は、グループホームの職員会議で取り組みたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>時間をかけて丁寧に説明している。家族様が数名おられる時それぞれに理解・同意を得るように説明している。</p>	<p>時間をかけて丁寧に説明していく。家族様が数名おられる時それぞれに理解・同意を得るように説明していきたい。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者様の言動や態度から不満を察したら、日々のミーティングの中で話し合い、解決するよう努めている。自分の意見が表せない方に対して、できるだけ聞いていっている。</p>	<p>利用者様の言動や態度から不満を察したら、日々のミーティングの中で話し合い、解決するよう努めていきたい。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>月1回のお手紙の中で、日々の様子、行事を報告している。面会時に細かい状態を伝えるようにし、「言ったつもり」「聞きそびれ」を回避している。ケース記録を見てもらったり、毎月請求時に通帳や領収書のコピーを付けている。</p>	<p>月1回のお手紙の中で、日々の様子、行事を報告していく。また、面会時に細かい状態を伝えるようにし、「言ったつもり」「聞きそびれ」を回避したい。ケース記録を見てもらったり、毎月請求時に通帳や領収書のコピーを付けていく。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情シートを用意し、意見や不満、苦情について記入報告し、管理者・職員で対応について解決を図るよう努めている。</p>	<p>苦情シートを用意し、意見や不満、苦情について記入報告し、管理者・職員で対応について解決を図るよう努めていきたい。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>朝・夕の申し送りで個人の意見を言う機会を設けている。管理者も定期的に参加し、個別面談も行われている。</p>	<p>朝・夕の申し送りで個人の意見を言う機会を設けていく。管理者も定期的に参加し、個別面談も行っていきたい。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>利用者様の状態を把握している職員で、夜勤者もシフトを組み、2フロアの状態を把握できるよう、それぞれのフロアで勤務している。入居者様の状態に応じて、夜21:00までの勤務を追加した。</p>	<p>入居者様の状態に応じて、今後も勤務時間、体制の変更など柔軟な対応をしていきたい。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者様の馴染みの顔である職員が多数異動することがないように配慮している。新職員が入る場合は、利用者一人ひとりに紹介している。		利用者様の馴染みの顔である職員が多数異動することがないように配慮していく。新職員が入る場合は、利用者一人ひとりに紹介していきたい。
5.人材の育成と支援			
19 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修会には、職員が順に受けていくような体制がある。また、研修報告は、全体会議にて報告し、研修を共有している。		研修会には、職員が順に受けていくような体制にしていく。また、研修報告は、全体会議にて報告し、研修を共有していきたい。
20 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡会が行われ、順に職員の参加も計画されている。他事業所の意見交換を設け、質の向上を目指している。		グループホーム連絡会が行われ、順に職員の参加も計画していく。他事業所の意見交換を設け、質の向上を目指していきたい。
21 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	休憩は一人ずつ行い、利用者様と離れ気分転換を図れる時間・場所がある。管理者は話しやすく、職員も話しかけやすい環境である。		休憩は一人ずつ行い、利用者様と離れ気分転換を図れる時間・場所を持つ。管理者は話しやすく、職員も話しかけやすい環境にしていきたい。
22 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	資格取得に向けた勉強会を作り、向上心が持てるようにしている。管理者は、頻繁に現場に来ており、様子を見ている。		資格取得に向けた勉強会を作り、向上心が持てるようにしていく。管理者は、頻繁に現場に来て、今後も様子を見していきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>面接時、本人様の状態を把握するよう努め、話しやすい雰囲気を作るようにしている。入居前にホームに何度か遊びに来ていただいている。</p>	<p>面接時、本人様の状態を把握するよう努め、話しやすい雰囲気を作るようにしていきたい。入居前にホームに遊びに来ていただくようにする。</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>家族様が何に困っているのか、何を求めているのかを聞く姿勢を持っている。信頼を持っていたき、次の相談につなげていっている。</p>	<p>家族様が何に困っているのか、何を求めているのかを聞く姿勢を持ち、また信頼を持っていたき、次の相談につなげていきたい。</p>
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談を受け、助言を行うが、出来ないことは他のサービス機関と連携をとるようにしている。</p>	<p>相談を受け、助言を行うが、出来ないことは他のサービス機関と連携をとるようにしていきたい。</p>
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>事業所の様子を見に来ていただいたり、習い事など行事の様子を見ていただいている。</p>	<p>事業所の様子を見に来ていただいたり、習い事など行事の様子を見ていただくように努めたい。</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者様であるという以前に人生の先輩という思いが常にあり、料理・掃除・季節ごとのしきたりや文化など、教えていただくことも多い。</p>	<p>支援してもらっているという思いを利用者様が感じることはないよう、共に生活しているという思いを持っていただきたい。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	利用者を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている	家族の思いや考えを理解し、暮らしの様子を伝えていく中で、家族様と職員で共に支えていく思いができています。面会に来られた家族様には、行事に参加していただいている。		家族の思いや考えを理解し、暮らしの様子を伝えていく中で、家族様と職員で共に支えていきたい。面会に来られた家族様には、行事に参加していただくよう努めたい。
29	利用者との関係のよりよい関係に向けた支援 これまでの利用者との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	利用者様・家族様の状態を見ながら、家族様に行事の連絡、誕生日会の招待や家族会の案内をしている。また衣替えに来ていただき、利用者様との良い関係が保てるように心がけている。		利用者様・家族様の状態を見ながら、家族様に行事の連絡、誕生日会の招待や家族会の案内をしていきたい。また衣替えに来ていただき、利用者様との良い関係が保てるように心がけていきたい。
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前によく散歩された場所に定期的にお連れしたり、馴染みの友人に会いに来ていただいている。利用者様が落ち着き、安心と思えるようにしている。		入居前によく散歩された場所に定期的にお連れしたり、馴染みの友人に会いに来ていただけるよう努めたい。利用者様が落ち着き、安心と思えるようにしていきたい。
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	昼食時は、職員も皆と一緒に食事をし、ゆったりした時間が持てるよう、話しかけながら行っている。孤立することのないよう食堂に出て来ていただき、会話を楽しまれるよう定期的に席替えもしている。		昼食時は、職員も皆と一緒に食事をし、ゆったりした時間が持てるよう、話しかけながら行っていきたい。孤立することのないよう食堂に出て来ていただき、会話を楽しまれるよう定期的に席替えもしていきたい。
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	家族様に様子を伺ったり、継続的な関わりを持っている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>生活の中で言葉かけ、関わりの中で思いが見えることがあります。また、家族様からの情報を得るようにしている。関わりを常に持ち、状態変化に気付けるようにする。</p>	<p>生活の中で言葉かけ、関わりの中で思いが見えることがあります。また、家族様からの情報を得るようにしている。関わりを常に持ち、状態変化に気付けるようにしていきたい。</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>利用者様のお話を伺ったり、家族様からバックグラウンドについてお尋ねしている。</p>	<p>プライバシーに関することで気を付けなければならないことだが、利用者様からも折に触れ、どんな生活をしてこられたのか聞いていきたい。</p>
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>利用者様個人の生活リズムの把握、できることを見つけて全体像を把握している。シフト制であり、出勤でないときは、ケース記録や連絡ノートにて把握に努めている。</p>	<p>利用者様個人の生活リズムの把握、できることを見つけて全体像を把握していく。シフト制であり、出勤でないときは、ケース記録や連絡ノートにて把握に努めていきたい。</p>
2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>日々の暮らしの中での関わりで意見を聞き、居室担当者会議で課題を取り上げ、職員全体で意見交換を行っている。</p>	<p>利用者様・家族様の思いを取り入れたケアプラン作成に心がけたい。</p>
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>家族様にケアプランを報告している。状態に変化のあった時、また要望のあった時は見直しを行っている。</p>	<p>家族様にケアプランを報告していく。状態に変化のあった時、また要望のあった時は見直しを行ってきたい。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録、一週間チェック表(バイタル、食事量、薬、排泄、病院受診)を記録している。ケース記録では、様子、言葉など記録し、押印している。		ケース記録、一週間チェック表(バイタル、食事量、薬、排泄、病院受診)を記録していく。ケース記録では、様子、言葉など記録し、押印していく。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	市営住宅型なので、制限はあるが、利用者様の日々の変化に対応した支援を行なっている。		認知症介護の経験を活かし、ショートステイ・デイサービスができるように、今後、市と話し合いをすすめたい。
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	民生委員の方と意見交換する機会を設けている。ボランティアの方に協力していただいている。近隣の小学生の訪問もある。		利用者様のできることの発見と生活の充実のため、様々なボランティアの方に呼びかけを行う。
41	他のサービスの活用支援 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	必要に応じてケアマネジャーと話し合いができる体制になっている。		必要に応じてケアマネジャーと話し合いができる体制になっているため、今後も継続していきたい。
42	地域包括支援センターとの協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議において地域包括支援センター「ほくらくる」の参加があり、情報交換を行っている。		運営推進会議において地域包括支援センター「ほくらくる」の参加があり、今後も情報交換を行っていきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 利用者や家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者様と家族様の希望するかかりつけ医である。家族様同行の受診の場合、状況を密に連絡している。職員が代行の場合、利用契約があり、同意を得ている。		利用者様と家族様の希望するかかりつけ医である。家族様同行の受診の場合、状況を密に連絡していく。職員が代行の場合、利用契約があり、同意を得ている。今後も継続していきたい。
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	月2回、地域老人医療に理解ある主治医の往診がある。認知症に理解ある協力病院があり、受け入れ体制が整っている。		月2回、地域老人医療に理解ある主治医の往診がある。認知症に理解ある協力病院があり、受け入れ体制が整っている。
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	他部署の看護師と連絡・相談し、いつでもアドバイスを受けられる。		他部署の看護師と連絡・相談し、いつでもアドバイスを受けられる体制を整えていきたい。
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	協力病院がある。入院時には、お見舞いや病院・医師等と連絡を取り、家族様とも情報交換を行っている。速やかな退院となるよう支援している。		協力病院があり、入院時には、お見舞いや病院・医師等と連絡を取り、家族様とも情報交換を行っている。速やかな退院となるよう支援していきたい。
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に向けて、家族様と話し、支援につなげている。		重度化や終末期に向けて、家族様と話し、支援につなげていきたい。
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	主治医との連携は常に行っている。さらに、終末期に過ごしていただく対応をチームとして取り組んでいる。		主治医との連携は常に行ってほしい。さらに、終末期に過ごしていただく対応をチームとして取り組んでほしい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>退居され、他施設に移られる時は、ケアプランや状況等を連絡し、説明している。少しでも生活しやすい環境ができるよう努めている。</p>		<p>退居され、他施設に移られる時は、ケアプランや状況等を連絡し、説明していく。少しでも生活しやすい環境ができるよう努めていきたい。</p>
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>				
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>周囲に配慮し、さり気ない誘導や言葉かけを行っている。個人情報について他者に漏れることのないようプライバシーを守っている。</p>		<p>申し送り時やミーティングで日々の関わりを職員間に徹底していく。</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>買い物は、ご自分で選んでいただいている。着替える服や食べたい物もお尋ねしている。意志が伝えられない方には、表情や様子を見て、本人様が決められるように促している。</p>		<p>買い物、お好みメニューなど、今後も本人様の思いや自己決定ができる場面作りをしていく。</p>
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者様のペースに合わせ、生活していただいている。散歩に行きたい、食事がゆっくりな方など、希望に合わせ、個別的な支援を行っている。</p>		<p>利用者様のペースに合わせ、生活していただくよう心がける。散歩に行きたい、食事がゆっくりな方など、希望に合わせ、個別的な支援を行っていききたい。</p>
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>				
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>行きつけの理美容院へお連れしている。衣服の汚れは、さり気なく直すように心がけている。お化粧品やおしゃれに必要な物は揃えている。居室担当者が常に気を付けている。</p>		<p>衣服の汚れは、さり気なく直すように心がけていきたい。お化粧品やおしゃれに必要な物は揃え、居室担当者が常に気を付けていきたい。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>旬の食材やベランダでできた野菜を使用している。台所だけでなくテーブル上でできるもやしの根切りや野菜の皮むき、豆のすじ取りなどを手伝っていただいている。一緒に食事をし、できる方はご自分で使った食器は洗っていただいている。</p>		<p>今後もお好みメニューで、利用者様が選べるメニュー作りをしていきたい。食事を1日の大切な活動と位置づけている。</p>
55	<p>嗜好品を把握し、個別のおやつは他者の迷惑とならないよう居室へ運んでいる。タバコは、灰皿の場所を決めている。お酒は寝る前に希望され、お渡ししている。</p>		<p>嗜好品は個別の要求として、今後も支援していきたい。</p>
56	<p>一人ひとりの排泄パターンの把握に努め、サインを見逃さないようにしている。排泄チェック表を使用している。</p>		<p>紙パンツやパッドを使用しないですむよう見直しを行う。トイレにて排泄習慣があり、人間らしい生活ができるよう努める。</p>
57	<p>入浴日と決めてしまわず、入りたいという時に入れるよう、少人数の入浴でゆっくりと入っていただいている。拒否される方には、声かけやチームプレイを行っている。希望の足浴も行っている。</p>		<p>今後もゆっくり入浴していただきたい。</p>
58	<p>日中の活動を促している。体調や様子に気を配っている。眠れない方には、職員とともに過ごし、安心していただく。温かい飲み物などを飲んでいただいている。どうしても眠れない方には、添い寝などもしている。</p>		<p>日中の活動を促し、体調や様子に気を配っていききたい。眠れない方には、職員とともに過ごし、安心していただくよう努める。どうしても眠れない方には、添い寝などもしていきたい。</p>
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		<p>食事作りや花に水やり、掃除や編み物、らっきょう漬、梅干漬、干し柿作りなどを楽しみごとにさせていただきよう努めていきたい。</p>


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣いは事務所で管理しているが、ご自分で扱える方は、手元にお持ちである。買い物時や喫茶店へ行った際は、レジにて手渡しやおつりの受け取りをしていただいている。		お小遣いは事務所で管理しているが、ご自分で扱える方は、手元にお持ちである。買い物時や喫茶店へ行った際は、レジにて手渡しやおつりの受け取りをしていただくよう努めていきたい。
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	お誕生日をお祝いするため、外出したり、天気の良い日は散歩に出掛けている。車椅子の方も外の空気や景色に触れていただくことを日常的に行っている。		お誕生日をお祝いするため、外出したり、天気の良い日は散歩に出掛ける。車椅子の方も外の空気や景色に触れていただくことを日常的に行っていきたい。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	希望が出たら、「墓参りに行きたい」など家族様の協力を得て、実現に向けて計画を立てている。		希望が出たら、家族様の協力を得て、今後も実現に向けて計画を立てていきたい。
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	居室に電話がある方は使っていただき、それ以外の方は事務所の電話を使用し、話ができるようにしている。暑中見舞いなどの便りを作り、身近な方に送っている。		居室に電話がある方は使っていただき、それ以外の方は事務所の電話を使用し、話ができるようにしている。暑中見舞いなどの便りを作り、身近な方に送っていききたい。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	生活の様子を見ていただいたり、気兼ねなく会っていただけるように居室でゆっくりお話していただいている。仕事帰りなど遅い時間にも立ち寄りいただいている。		生活の様子を見ていただいたり、気兼ねなく会って、居室でゆっくりお話していただけるよう心がけていきたい。
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会が実行されている。自覚のない言葉などの拘束がないか、申し送り等で話し合っている。さらに、申し送り時、職員全員で共有する機会を持っている。		身体拘束委員会を実行していく。自覚のない言葉などの拘束がないか、申し送り等で話し合っていきたい。職員全員で共有する機会を持っていきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	外出したようなサインが出たら、さり気なく声をかけ、一緒に出るようにしている。玄関施錠は、安全面の確保のために行っている。		外出したようなサインが出たら、さり気なく声をかけ、一緒に出るようにしていきたい。
67 利用者の安全確認 利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	フロア対応の職員がおり、記録等の時は、状態が見えるように開放している。夜間は、巡回を行い、違うフロアにいるときは、センサーマットを使い、安全に配慮している。		フロア対応の職員がおり、記録等の時は、状態が見えるように開放している。夜間は、巡回を行い、違うフロアにいるときは、センサーマットを使い、安全に配慮していきたい。
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	皆が集まる場所の危険物の管理には注意をし、漂白剤なども場所を決めている。刃物や洗剤、針など日常的に使う方の保管場所は把握している。		皆が集まる場所の危険物の管理には注意をし、漂白剤なども場所を決めている。利用者様の使える力に応じた支援をしていきたい。
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故が予測される場合、必要なものを揃えたり、職員間で勉強会を申し送り時に行っている。事故報告書を記録し、職員間で対策を検討している。		事故が予測される場合、必要なものを揃えたり、職員間で勉強会を申し送り時に行っていく。事故報告書を記録し、職員間で対策を検討していきたい。
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急対応マニュアルを作成している。連絡先などは、すぐ目につくところに置いている。月2回申し送り時を利用し、勉強会を行っている。緊急手当てに必要な物品を揃えている。		他部署の行う蘇生術の緊急手当の研修に参加の予定である。
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	利用者様とともに非難訓練を行っている。マニュアルがあり、消火器の場所、避難経路の確認、掲示を行っている。シルバーハウジングの方とも協力して防災訓練を行っている。		利用者様とともに非難訓練を行っていく。マニュアルがあり、消火器の場所、避難経路の確認、掲示を行っていく。シルバーハウジングの方とも協力して防災訓練を行っていく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	家族様には転倒や事故など起こりえることに対しては、説明を行い、対応をお伝えしている。人間らしい自由な暮らしを確保しながら、安全に生活できるよう注意している。		家族様には転倒や事故など起こりえることに対しては、説明を行い、対応をお伝えしていく。人間らしい自由な暮らしを確保しながら、安全に生活できるよう注意していきたい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	状態の変化に気づき、管理者・職員ともに共有している。かかりつけ医に報告し、指示を仰いでいる。		状態の変化に気づき、管理者・職員ともに共有していく。かかりつけ医に報告し、指示を仰いでいく。
74	服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬ファイルを作成し、確認している。飲みづらそうなときは、錠剤から散剤に変えるなど、かかりつけ医に相談を行っている。		服薬ファイルを作成し、確認していく。飲みづらそうなときは、錠剤から散剤に変えるなど、かかりつけ医に相談を行っていく。
75	便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便チェック表に記入し、排便のない日を把握している。散歩や廊下歩行などをしていただき、自然排便しやすいようにしている。		活動状況や食事などに気を配り、便秘にならないようにする。自然排便を目指す。
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	歯磨きの促し、介助を行っている。週1回ポリデント洗浄を行っている。		毎食後の手入れを目標とし、口腔衛生に気を付ける。
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量を毎食後、記録しており、摂取量の少ない方には補食を準備している。水分摂取量の少ない方にも量の把握に努める。		食事摂取量を毎食後記録し、摂取量の少ない方には補食を準備していく。水分摂取量の少ない方にも量の把握に努めていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症予防に対してマニュアルがあり、職員間で学習している。必要物品(マスク、手袋、エプロン、汚物入れ、吐しゃ物入れ、ビューラックス液)は分かりやすいところに置いている。インフルエンザについては、予防接種を受けている。		外出後、食前の手洗い、うがい、消毒を徹底して行っていく。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	在庫食品など目につくところに貼り出している。冷蔵庫の掃除は常に気を付けている。まな板は、食品に応じ、専用のものを使用している。布巾は、煮沸消毒を行っている。		在庫食品など目につくところに貼り出している。冷蔵庫の掃除は常に気を付け、まな板は食品に応じ、専用のものを使用していく。布巾は、煮沸消毒を行うよう努める。常に冷蔵庫は清潔にし、毎日食材の仕入れを行っていく。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関に温かい雰囲気が出せるように手作りの物やマット、季節感のある生け花を飾り、安心していただけるようにしている。		玄関に温かい雰囲気が出せるように手作りの物やマット、季節感のある生け花を飾り、安心していただけるようにしていきたい。生け花のある生活を心がけていきたい。
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	照明は、利用時に応じ調節している。(食事の時、そうでない時、脱衣室)西日の強いときは、すだれを利用している。食事作りのにおいやCDの音、窓からの風に気を付けている。		共用空間を利用者様と一緒に考え、相談していきたい。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下にベンチやソファを置いてあり、思い思いに利用されている。喫煙所の確保、ベランダに椅子を置いており、利用されている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具やベッド、仏壇などを持ち込まれている。危険なことがないよう物品の片付けができない方に対しては、職員と一緒に整理している。		その人の状態に合わせた室内のしつらえを一緒に考えていきたい。
84 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気は定期的に行っている。トイレは、換気扇や消臭剤を利用している。冷暖房の扱いは、温度に応じて調節している。		朝一番の外気を感じ、肌で季節感が感じられるようにしていきたい。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	生活空間は、スペースが広く、車椅子、シルバーカー、歩行器の利用ができる。床面のはがれなどつまづきやすい箇所は、すぐに修理をし、安全確保に努めている。使いやすい所に手すりを設置しており、自立を促している。		和室の上り、下りに関しては、今後も見守り・注意を払っていきたい。
86 わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	居室入り口の表札、目印で確認をされている。混乱や失敗が起きたときは、検討をし、安心していただけるように対応を行っている。		居室入り口の表札、目印で確認をされている。混乱や失敗が起きたときは、検討をし、安心していただけるように対応を行っていく。
87 建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	広いベランダに野菜や花を植えている。ベランダで日光浴やおやつ時間も持てるようにしている。		広いベランダに野菜や花を植えていく。ベランダで日光浴やおやつ時間も持てるよう努めていく。

( 部分は第三者評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

利用者の方の人間らしく、安心して生活できる場の提供、共に生活する家庭となるように支援しています。また、季節に合わせた行事、家庭のような生活空間を作るよう努めています。医師の往診、ボランティアの方の協力、毎月1回の大掃除、皆で誕生日を祝うなど、年中行事を大切にしています。グループホームでの夏祭り、敬老会、クリスマス会などの楽しい行事も利用者の方々と一緒に準備に取り組んでいます。利用者の方々に寄り添いながら、一緒に生活する気持ちで支援を行っています。